

福田改造内閣の外務、財務、厚生労働各政務官に6日、県選出国會議員3氏が就任した。拉致問題、財政再建、社会保障の信頼回復などそれぞれが喫緊の課題

に直面する中、福田首相が掲げる「安心実現内閣」をどう支えるのか。抱負を聞いた。

# 県選出 新政務官に聞く



厚生労働

戸井田徹氏(自民・兵庫11区)

内閣府政務官として公務員制しい時代からこそ、何とかした度改革などを担当したのに「いい」と自ら志願した。き、横滑りの起用、医療制度、年「き文三郎氏の厚生相時代、金問題など厚生労働行政への世秘書官として築いた人脈が今も論の反発は強い。「国民の信用が生きている。官僚のやる気を引が崩れてしまっている。一番厳き出すのは政治の役目。名を残

## 意識改革が最重要

して恥ずかしくない仕事をしよう」と訴えたい」と、意識改革を最重要視する。

自身の落選経験と重ね「厚労省も今はどん底だが、一人一人が腹をくくって誠実に事に当たるしかない」と力を込めた。当選一回、五十六歳。

(永見将人)



財務

末松信介氏(自民・兵庫選挙区)

豊気減速と少子高齢化が進む「ば」と表情を引き締める。中で危機的な財政をやりくりす消費税率や道路財源の一般財の立場に。党内では「これ以上課税など、税制をめぐる課題も議出削減は限界だ」との声が出しているが、「それでも歳入と歳出の均衡に挑戦しなければ、安心」の施策を推進するため、

## 財政に地方の視点

議論を始める時に来ている」と話す。

参院総務委員会理事として地方財政問題に取り組み「国も、もっと地方の視点で財政のあり方を考えるべきだ」と感じる。「そのために総務省との活発な人事交流を提案したい」。当選一回、五十二歳。(足立 聡)



外務

西村康稔氏(自民・兵庫9区)

「経済、安全保障、環境など幅広い課題が山積している」。党ではエネルギーや農林水産、国際競争力、海洋政策と多岐にわたる部会の事務局長などを歴任してきた。「培った人脈を生かすチネルギーや食料の価格高騰対

## 国益実現に全力を

策、拉致問題など、各国と友好を築くだけでなく、互いに主張をぶつけ合わねばならない」と気を引き締める。

国際社会での日本の存在感を高めるため「各省庁と連携し、日本の国益の実現に全力を尽くしたい」。当選二回、四十五歳。(山路 進)